



中丹

農業改良 普及センターだより

新規就農者等が獣害対策を実習!

普及センターでは、農業経験の浅い方等を対象とした「農業基礎講座」を毎年開催しています。

11月29日に実施

した講座では振興局担当者と協力し、獣害対策の講義や防護柵の設置実習を行いました。受講者は獣の生態や防護柵を効果的に設置する手法について、自らの経験に活かせるよう熱心に受講されました。今後も農業基礎講座の内容充実を図るため、先輩農家から講話や実習をカリキュラムに組み込む工夫に努めています。

(写真 結束方法を説明する普及指導員(左))



京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆
2017年(平成29年)1月

にし
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

“築いていくこう 差別のない 明るい社会”

京力農場プランの実現による 地域農業の維持・発展

京力農場プランは中丹3市80地域で作成され（12月時点）、普及センターは、個別の訪問活動と集合研修の開催を2本の柱に活動を展開しました。訪問活動では、その地域が話し合いで決めたルールを聞き取つたり、管内の先進事例や補助事業を紹介してきました。「中丹京力農場プラン現地交流研修会」（8月25日、農業者46名参加）では、各市1地域の事例報告とパネルディスカッション、現地法人の見学会を開催しました。



地域特産物の振興による 地域の活性化

中山間の日当たりの悪いほ場でも栽培できる「山ブキ栽培」に、集落ぐるみでの取り組みが進んでいます。福知山市三岳地区では、昨年3月に設立された「みたけ山ブキの会」が、会員の山ブキをカツト、塩漬けにして、市内の佃煮業者へ約1tを販売しました。また、集落営農組織等を対象に栽培ほ場（福知山市）で講習会を開催し、雇用労力を活用し始めた栽培管理や収穫作業の経営事例を学びました。参加組織は今秋から定植作業を行い、栽培をスタートしています。山ブキ栽培を希望される方は普及センターへご相談ください。



その他に、今年度に取り組んだ 普及重点計画の活動概要を紹介します！

地域農業を担う 法人の経営支援

綾部市の中核的担い手として位置づけられている、集落営農型法人の支援を行っています。今年度は適期作業を実践するため、役員・オペレーター間での携帯メール等の活用により情報共有の強化ができました。雑草や獣害対策等の解決すべき課題はまだ多くあり、さらに農地集積が進む中で新たな課題が出てくることが予想されます。引き続き経営改善に向けた取り組みに対する支援をしていきます。



「万願寺甘とう」「黒大豆枝豆」の产地強化

中丹産京野菜の代表品目である「万願寺甘とう」のブランド产地強化を目指し、重点対象農家を中心に、温度管理、肥培管理、病害虫予防等の基本技術の徹底を行い、技術力のアップを図りました。また、全ての栽培農家を対象にして時期ごとに栽培技術資料を配付し、技術講習会を開催しました。



特色ある米づくりの推進

12戸の若い農業者を重点対象として個別に支援活動を行いました。栽培技術の助言だけでなく経営研修会に参加してもらうなど、それぞれの農業者の能力向上をめざしました。今後の経営計画や課題での携帯メール等の活用により情報共有の強化ができました。雑草や獣害対策等の解決すべき課題はまだ多くあり、さらに農地集積が進む中で新たな課題が出てくることが予想されます。引き続き経営改善に向けた取り組みに対する支援をしていきます。



若い担い手の育成

酒米の「祝」、「五百万石」および酒造用掛け米「京の輝き」の安定生産技術の普及を目標に、関係機関と連携した巡回指導により技術支援を行いました。また、今年度は防除講習会や現地交流会等生産者同士、或いは実需者と交流できる機会を設け、生産者が技術研鑽できるように支援しました。今年度は9月の長雨で品質低下、減収になつたものの、生産量目標は概ね達成する見込みです。



クローズアップ中丹

Vol.4

～様々な角度から頑張る方々を紹介～

休みもほとんどありませんが、基本にしながら雇用を使うことで、もう少し子供達との時間もほしいと考えていています。

赤堀 圭司 さん
(平成27年 就農)
綾部市西坂

経営内容(28年度)

- 黒大豆枝豆 100a
- 万願寺甘とう(施設) 7.5a
- 小豆 25a
- 水稻 100a



就農地を探して西坂町を訪れた際、この地域の雰囲気に魅力を感じて「就農するならここだ!」と決めました。地域の方にお話になつて2年間の研修を実施し、平成27年12月に就農することが出来ましたが、経営規模を一気に拡大したことにより作業手順や労働力配分を試行錯誤する毎日です。仕事はしないこともあります。まじめに取り組んでいるとサポートしてくれる方が現れます。農業で大切なことは地域や人と関わりを持ちます。

▲就農準備型

て体あのれ題
い制り急るは
今抱えて
確立、増へし
受け出しこう
あります。今後
は自分なりの
正解を探
ね、自分なり
にかかるいこ
とは周囲の方々
わからぬことと
れるようにな
ることは地域
かるからない
けれども現
れる方とも現
れます。



総延長10kmに及ぶ防護柵



個人担い手の水路を補修

担い手養成実践農場研修修了者にきて

守り、発展させていくためには、新たな担い手を確保することから代々受け継がれてきた農地の荒廃化を止め、手不足による耕放棄地が増え、生まれ育った地域を目立ってきました。将来的に法人の後継者を育成していくことを自覚も高めていかなければなりません。担い手を確保することから始めるのです。



衣川 重人 さん
(福知山市夜久野町)

地域で活躍する農業士

現在、中丹農業会の会長を務めています。地域では、新たな担い手を確立していくことを始めた。これまで育った地域を生きながら、地域の後継者としての自覺も高めていかなければなりません。

内久井・金河内・坊口地区

(綾部市志賀郷北部)

- 中心となる担い手 10戸+1法人
- 農地面積 65ha
- スローガン

『次世代へつなごう美田と特産!』

~犀川の源流として環境にやさしい農業の拡大~』

①個人の中核的担い手を明確にし、農地中間管理事業を活用しながら積極的に事業を行なう。27年3月に単独で法人化しました。これはの集落が個別に農地利用を調整していくため、24年に、いふらは25年に、それをつなぎながら農地の荒廃化は止められました。農地の荒廃化は止めたが、27年の3集落合同の法人化から、プラランや地域宮農の特徴は、

①個人の中核的担い手を明確にし、農地中間管理事業を活用しながら積極的

②法人化と併行して補助事業で大型農業機械

③法人は個人担い手が受けられない農地を受け入れることとし、耕作放棄地は発生させさせることとし、耕作放棄地を法人化する。

④農地の中間管理事業で得た地域中間集積協力通金は、主に3集落共同防護柵の設置に使う。

（材料（4人分））

大根	500g
人参	100g
豆腐	300g
塩	少々
白ゴマ	50g
★味噌	大さじ2
★砂糖	大さじ5
★酢	大さじ3
ゆずの皮	1/4個

○○さん家のお料理レシピ 「なます」

舞鶴市生活研究グループの皆さんにお聞きしました。



- ①大根、人参は千切りにして、塩でしんなりさせる。
- ②白ゴマを炒ってする。豆腐もすって★の調味料を入れて味を調える。
- ③①を絞って②の中に入れる。
- ④皿に盛り付けてゆずの皮の千切りを飾る。

※糸こんにゃくを入れてもよい。



~白ゴマは油が出る程度までするとおいしい~



中島健太郎さん
(福知山夜久野町)



泉陽一さん
(舞鶴市西方寺)

～3月末に退任される農業士さん～

渡辺 弘造さん（綾部市）



中丹の茶が農林水産大臣賞と産地賞を受賞！

舞鶴市の南範男さんが、平成28年に三重県で行われた第70回全国茶品評会の「かぶせ茶の部」において、栄えある農林水産大臣賞を受賞されました。また、舞鶴市は5年連続で産地賞を受賞しました。中丹地域の産地賞受賞は9年連続となり、高品質なお茶の産地として全国で評価されています。



賞状を手にする南さん

「農業応援隊」のうごき

「農業応援隊」とは、普及センター、市、JA、商工会議所等の職員が隊員となり、農業経営のステップアップを目指す農業者を伴走支援する組織です。

★舞鶴市加佐地区で水稻や万とうを栽培する霜尾喜三さんは、従業員の労働確保や経営安定のため、昨年度に「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、以前から興味のあったイチゴ栽培にチャレンジされました。今年度も更に面積を拡大されており、応援隊では栽培が軌道に乗るよう技術支援しています。



★6月30日に中小企業を支援する綾部市商工会議所経営支援員から活動方法を学び、隊員の資質向上と商工とのネットワークづくりを深めています。



ご案内 「農業経営向上のための事業説明会」

●とき：2月16日（木）13:15～16:30

●ところ：府総合教育センター北部研修所（綾部市川糸町堀ノ内）

※参加希望は最寄りの普及センターまで

新しい農業士さんです

後継者の育成等
よろしく
お願いします！



添田潤さん
(舞鶴市西方寺)

就農するため舞鶴に来てから15年程が経過しようとしています。今までたくさんの農業者、地域の方々に支えられ生きてきました。私が出来ることは新規就農者、農業者がこの地域で暮らしていくようにサポートする事です。そして地域の万願寺甘とうという产品がますます愛され、農業で生きていく人たちと共に農業生産できる体制を整え続ける事だと思います。

農村はこれから激動の時代に突入し、今の農村の景色は残せないかも知れませんが、農業で暮らしていく人達が生き残れるようサポートさせていただきます。

※添田さんは「青年農業士」退任に引き続き、「指導農業士」をお世話になります。

嵯峨根幹雄さん

(舞鶴市字引土)

就農後10年が経ちました。その間3度の水害に遭いましたが、再建を目指し、去年から生まれ育った舞鶴市吉田地区でイチゴの養液栽培や、トマト、万願寺甘とうの経営を始めました。これからは、若い世代の農業者に少しでも農業の楽しさや経営のノウハウなどアドバイスできればと考えています。

「ほしクリープ（綾部市）が経営革新賞を受賞！」

～28年度 近畿農政局男女共同参画優良事例表彰～

地域の農地を活用した農産物の栽培及び加工品「キュウリの醤油漬け（ふたば漬け）」・仕出し弁当等を製造・販売されています。また、地元小・中学校において、給食食材の提供やそば打ち体験等の食育活動に励んであります。地域住民や地元自治会との交流会（サロン）を開き、地域の人々とふれあい、絆を深め、支え合うまちづくりに貢献されています。



農山漁村伝承優秀技能者「農の匠」に認定

伝承技能登録者の内、極めて稀少価値が高く優秀な技能者を毎年認定しています。

技能名	氏名	特長
こうぞ 楮の栽培	やまとか しげる 山岡 茂さん (綾部市)	「黒谷和紙」の原料となる楮の栽培において、省力栽培及び、剥皮作業の効率化の技術を保持しておられます。
蜜蜂飼育	いのうえ ひであ 井上 秀夫さん (綾部市)	ユリノキ等の蜜源植物の普及拡大、高糖度で蜜源の特徴を有した蜂蜜生産、飼育管理を行っておられます。
茶栽培と 製茶	なかた よしか 中田 義孝さん (綾部市)	一番茶の品質向上や緻密な茶園管理、製茶技術により、品質の良い荒茶に仕上げておられます。